

平成25年度上半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

施設名	岐阜市少年自然の家	所管課	教育委員会 青少年教育課
所在地	岐阜市山県北野2081番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	127,172,000円		
施設の設置目的	少年が自然に親しみ、自然の中で集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練し、もって健全な少年の育成を図る		
施設概要	宿泊棟、キャンプ場、多目的室、研修室(4)、音楽室、和室、クラフト室		

●利用状況

	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期
利用者数(単位:人) 団体数(単位:団体)	17,258 545	10,183 270	15,764 541	11,132 280	15,489 485
開所日数(単位:日)	157	144	152	143	155
団体利用可能日数(単位:日) ※1	157	140	152	139	155
団体利用実績日数(単位:日)	156	124	150	126	146
施設稼働状況(単位:%) ※2	99.4	88.6	98.7	90.6	94.2

※1 【開所日数】-【施設メンテナンス等により利用できない日数】 ※2 【団体利用実績日数】÷【団体利用可能日数】

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市少年自然の家条例施行規則第2条、第2条の2の規定を遵守している。 ②指定管理者仕様書1-(1)-①に基づき、適切な人員配置、人員管理を行っている。 ③新聞、ラジオ、ホームページ、パンフレット、チラシ等を活用し、多様な広報活動を行っている。また、主催事業、出前講座等への参加者に直接広報活動を行っている。 ④所独自のモニタリングシステムを構築し、迅速かつ丁寧な対応を行っている。
指定事業自主事業	○受け入れ事業を実施 ○下記主催事業を実施 ①家族のつどい ②子どものつどい ③市民のつどい	○受け入れ事業 ※カッコ内は対前年度比 ・532団体16,450人の小中学校、特別支援学校、青少年団体等を受け入れ(4団体1,458人増) ○主催事業 ※カッコ内は対前年度比 ①家族のつどい…2事業(3回)に72家族234人が参加(11家族27人増) ②子どものつどい…2事業に102人が参加(8人減) ③市民のつどい…3月に1事業実施予定
指定事業自主事業	○研修・啓発事業を実施 ○研究・開発事業を実施	○研修・啓発事業 ・他施設との共催事業、事業協力、出前講座 ・「自然の家だより」「季節の散策マップ」の発行 ・岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」への投稿 ・自主企画事業として次の事業を実施 ①「第1回三輪の里自然散策会」(6月に実施) ○研究・開発事業 ・活動プログラム等の研究開発 ・各種職員研修の受講 ・周辺の動植物調査及びデータ収集

<p>施設管理</p>	<p>①日常・定期清掃業務 ②ハチの巣調査、駆除 ③空気環境測定 ④飲料貯水槽清掃点検 ⑤水質検査 ⑥ねずみ・害虫等生息調査 ⑦煤煙測定 ⑧空調設備保守点検 ⑨給湯関係設備保守点検 ⑩地下オイルタンク保守点検 ⑪自動制御設備保守点検 ⑫給排水衛生設備等保守点検 ⑬浄化槽保守点検 ⑭昇降機保守点検 ⑮消防設備保守点検 ⑯非常通報装置保守点検 ⑰カリヨンの鐘保守点検</p>	<p>①日常・定期清掃業務:【日常】開所日は毎日実施 【定期】5月・7月・9月に実施 ②ハチの巣調査、駆除:9月に実施 ③空気環境測定:5月・7月・9月に実施 ④飲料貯水槽清掃点検:10月以降に実施予定 ⑤水質検査:8月に実施 ⑥ねずみ・害虫等生息調査:6月・8月に実施 ⑦煤煙測定:7月に実施 ⑧空調設備保守点検:5月実施 ⑨給湯関係設備保守点検:5月・8月・9月に実施 ⑩地下オイルタンク保守点検:10月以降に実施予定 ⑪自動制御設備保守点検:毎月実施 ⑫給排水衛生設備等保守点検:毎月実施 ⑬浄化槽保守点検:週1回実施 ⑭昇降機保守点検:毎月実施 ⑮消防設備保守点検:8月に実施 ⑯非常通報装置保守点検:毎月実施 ⑰カリヨンの鐘保守点検:10月以降に実施予定</p> <p>職員による主な施設点検(整備) 【館内外点検】団体の退所時、休所日前の夕、休所日後の朝に実施 【キャンプ場】団体の利用前、利用後及び暴風雨後に実施 【散策道】随時実施(上期41回)</p>
<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</p>	<p>○迅速な修繕の実施 ・宿泊室の網戸が開閉しにくい、網が破れている。 ⇒網戸の張り替えと戸車の調整 ・夜中、扉を開閉する音が響く。 ⇒ドアクローザーの調整、グリス塗布 ・看板の文字が消えかけている。 ⇒看板のペンキ塗り直し</p> <p>○指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備例 ・公園内の橋の丸太取替、補修 ・公園外も含め30Km以上ある散策道の整備 ・チューリップ広場の杭取替 ・施設周辺、キャンプ場の植木剪定、間伐、草刈り ・ナイトハイクコースの整備 ・宿泊室扉ニス塗り ・施設周辺及び散策道のハチの巣駆除 ・浴場および手洗い場のパッキン交換 ・宿泊室天井の補修、障子等の張り替え ・クラフト、野外炊事等、体験活動に関わる各種備品の修繕・整備</p>

<p style="text-align: center;">危機管理・ 法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p>	<p>①(公財)岐阜市教育文化振興事業団「個人情報保護規程」に基づき、適切に事業運営を行っている。また、「公表事項等に関するご案内」を受付窓口に掲示し、規程に基づく事業運営について、市民への理解を求めていくとともに、全職員に周知徹底を図っている。 ・個人情報に関するデータは、専用のUSBメモリで集中管理している。USBメモリは常時耐火金庫で保管している。</p>
	<p>②非常時の対応策</p>	<p>②緊急時対応マニュアルの改善を図り、全職員に周知徹底している。川下り等、特にリスクの高い体験活動については、職員研修を実施し、対応への資質向上を図る。また、消防署立ち会いのもと、4月、5月、9月に避難訓練、6月に普通救命講習を実施している。 ・川下り活動では、「川下り対応マニュアル」を活用するとともに、職員対応を2名から3名に増やし、更なる安全確保の強化に努めている。 ・緊急地震速報受信装置の設置にともない、対応マニュアルを作成するとともに、館内掲示板やビラなどの整備に努めている。 ・職員が新たに防災士の資格を取得し、防災対策を強化している。 ・熱中症対策強化のため、5月から玄関ロビーに「熱中症注意情報」を掲示し、利用者に対し情報提供をするとともに、医務室に経口補水液を常備して、いつでも利用者に提供できるよう努めている。 ・キャンプ場での宿泊利用がある場合は、警備員による巡回のほか、地元交番に夜間巡回を依頼するなど、防犯対策を強化している。 ・ハチ(スズメバチなど)については、適宜、職員が山中を点検している。巣を発見した場合は、利用団体に情報提供をするとともに、職員が迅速に駆除するよう努めている。</p>
	<p>③関係法令の遵守</p>	<p>③岐阜市少年自然の家条例、岐阜市少年自然の家条例施行規則等、関係法令を遵守している。</p>

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>○受け入れ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の家利用者アンケート…全ての利用団体の指導者を対象 <ul style="list-style-type: none"> ・質問内容:施設設備、職員の対応、食堂での食事の3項目 ・聞き取りによる調査…下記の機会に利用者に対し要望等の聞き取りを実施 <ul style="list-style-type: none"> (利用前) 団体指導者を対象とした各種研修会、事前打合せ会、下見対応時 (利用中) 各活動に対応している職員による聞き取り(常時) 団体指導者と宿直職員との打合せ会(毎日、夜間) <p>○主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催事業参加者アンケート…すべての主催事業で実施 <ul style="list-style-type: none"> ・質問内容:参加動機、満足度など ・長期宿泊を伴う事業では、事前・事後にアンケートを実施 ・聞き取りによる調査…事業の実施中、各活動に対応している職員や施設ボランティアが、参加者から直接、要望等の聞き取りを行っている。
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○受け入れ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の家利用者アンケート <ul style="list-style-type: none"> ①回収枚数 117枚 <ul style="list-style-type: none"> 【項目】 満足(5点)・やや満足(4点)・普通(3点)・やや不満(2点)・不満(1点) ②初回利用 17枚 <ul style="list-style-type: none"> 「施設・設備」(平均4.71点) 満足76% やや満足18% 普通6% やや不満0% 不満0% 「職員の対応」(平均4.94点) 満足94% やや満足6% 普通0% やや不満0% 不満0% 「食堂の食事」(平均4.40点) 満足54% やや満足33% 普通13% やや不満0% 不満0% 【主な意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・清潔な施設で気持ち良く活動できた。エアコンも効き快適でした。 ・キャンプファイヤーではこちらの要望に細かく対応してもらえて助かった。 ・子どもにも大人にも丁寧に対応してもらえたので、何の心配もなく活動ができた。 ※その他好意的な意見多数 ③複数回利用 100枚 <ul style="list-style-type: none"> 「施設・設備」(平均4.59点) 満足65% やや満足29% 普通6% やや不満0% 不満0% 「職員の対応」(平均4.94点) 満足95% やや満足4% 普通1% やや不満0% 不満0% 「食堂の食事」(平均4.32点) 満足49% やや満足35% 普通14% やや不満2% 不満0% 【主な意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・施設はいつもながら使いやすい。 ・子どもが濡れて到着した際に、事前にお風呂の準備をしてもらえたので体調不良になる子ども出ずにすみしました。 ・食堂ではアレルギー食に対して細やかな対応をしてもらい助かった。 ※その他好意的な意見多数 ・聞き取りによる調査 <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの組み方、活動メニュー、熱中症対策、活動における安全上の留意点についての質問、要望が多数である。 ・天候により、活動メニュー、活動場所の変更等への質問、要望も多数ある。 <p>○主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催事業参加者アンケート <ul style="list-style-type: none"> 【家族を対象とした事業】 ○ファミリーDAY ピクニック編(半日) <ul style="list-style-type: none"> ①回収 17枚 ②初めて参加 9枚 <ul style="list-style-type: none"> 【事業への満足度】 満足89% やや満足11% やや不満足0% 不満足0% 【主な意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな花や木を使った遊びができ、親子とも楽しかった。子どもは花や木を見て、触って興奮していた。 ・何気に見過ぎていた木や葉っぱ、花をじっくり見直すことができた。 ※その他好意的な意見多数。 ③複数回参加 8枚 <ul style="list-style-type: none"> 【事業への満足度】 満足100% やや満足0% やや不満足0% 不満足0% 【主な意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・自然の家の行事は毎回とても楽しみです。 ・家族で毎回楽しく参加できて良い思い出になる。また参加したい。 ※その他好意的な意見多数。

利用者アンケートの
実施結果

○ファミリーDAY 野外炊事編(1日 2回)

①回収枚数 44枚

②初めて参加 29枚

【事業への満足度】 満足97% やや満足3% やや不満足0% 不満足0%

【主な意見】

- ・子どもが一から自分自身でやりきる姿に、達成感、満足感が見られた。今の暮らしがいかにより便利であるかが理解できたようだ。
- ・火おこしや野外炊事の活動を通して、息子がとても頼りになることがわかった。親としてすごく嬉しかった。
- ・妻は、火おこし体験で終了時間2分前に火がついた時、とても感動していた。娘(小1)は、野外炊事でナベを頑張ってピカピカに洗っていた。

※その他好意的な意見多数。

③複数回参加 15枚

【事業への満足度】 満足100% やや満足0% やや不満足0% 不満足0%

【主な意見】

- ・活動中、子どもが自分の仕事を見つけて積極的に取り組んでくれて、成長を感じた。皿洗いも合格するまで粘り強く一人で洗っていた。
- ・今後も家族で参加できる事業を続けてほしい。ぜひ参加したい。

※その他好意的な意見多数。

【子どもを対象とした事業】

○自然は友だちキャンプ 野遊び隊(1泊2日)

①回収枚数 52枚

②初めて参加 42枚

【事業への満足度】 また参加したい93% 参加したくない7%

【主な意見】

- ・初めて会ってドキドキしたけど、まわりの子と仲良くなれた。
- ・テント作りや野外炊事は初めてでしたが頑張った。

※その他好意的な意見多数。

③複数回参加 10枚

【事業への満足度】 また参加したい100% 参加したくない0%

【主な意見】

- ・ナイトハイクは暗くて怖かったけど、班全員で声を出したり歌ったりして勇気を出せた。また、昼と夜の景色の違いが分かった。
- ・お土産作りできれいな花や草を集めて写真立てを作ったことが楽しかった。

※その他好意的な意見多数。

○アドベンチャーキャンプ わんぱく村(4泊5日)

①回収枚数 50枚

②初めて参加 46枚

【事業への満足度】 また参加したい96% 参加したくない4%

【主な意見】

- ・新しい友達ができ、最後までやりきれて達成感があった。5日間は短く感じた。
- ・たくさん話して、たくさん寝て、たくさん遊んだ。班のみんなといっぱい笑った。みんなと別れるのが嫌だ。来年も絶対に参加する。

※その他好意的な意見多数。

③複数回参加 4枚

【事業への満足度】 また参加したい100% 参加したくない0%

【主な意見】

- ・魚捕りでは、理科の教科書に載っている生き物を見つけられてびっくりした。
- ・川下りなど普段できないことがたくさんできて活動全てが楽しかった。

※その他好意的な意見多数。

・聞き取りによる調査

- ・活動内容、その具体的な方法についての質問、要望が多数である。
- ・食物アレルギーに関する質問が増えている。
- ・家族を対象とした事業では、家族構成に応じた指導・支援の要望がある。
- ・子どもを対象とした事業では、グループの課題に応じた指導・支援の要望がある。

利用者からの
要望・苦情と
対応・改善

○受け入れ事業

入所から退所まで、各活動に必ず担当職員を配置しているため、意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、宿直職員と団体指導者との打合せ会(毎日、夜間)、退所時(精算時)等に、団体指導者へ施設としての考え方を説明している。

利用者全般に関わる内容については、ホームページを活用し、意見等に対する考えや対応について回答している。

【主な意見と対応】

- ・消灯時間以降、他団体が騒がしくて子どもたちが眠れない。(複数回利用)
⇒宿泊をともなう利用については、各指導者研修会や「事前打合せ会」、利用当日の受付時や「夜の打合せ会」を通じ、各団体指導者にマナーの説明を行っている。
⇒入所時のオリエンテーションでは全ての利用者に消灯時間を守るよう呼びかけを行っている。
- ・ピアノのピッチが良くないので調律してほしい。(複数回利用)
⇒例年2月に調律を行ってきたが、団体利用が多い時期に早めることで利用者の要望に応じている。
- ・通常の食堂食の量では少ない。料金がかかってもよいので量を増やしてほしい。(初回利用)
⇒各団体に「事前打合せ会」を通じて、食事の増量ができることの周知を図っている。

○主催事業

開始から終了まで各活動に必ず担当職員を配置しているため、意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、必要に応じて各事業の「終わりの会(全体会)」で施設としての考え方を説明している。

事業全般に関わる内容については、係会、所内経営会議、職員会議を経て検討を重ね、次回の事業や次年度の事業のよりよい運営に活かしている。

【主な意見と対応】

- ・子どもを参加させたいが、食物アレルギーへの対応をしてほしい。(初めて参加)
⇒給食業者、保護者と密に連絡を取り合い、食事では除去や代替メニューの提供など、最大限参加者の希望に沿った対応に努めている。
- ・キャンプ場の場所がわかりにくい。(初めて参加)
⇒職員や施設ボランティアが、参加者集合時に駐車場に立ち、キャンプ場への誘導を行っている。
- ・未就学児の兄弟を連れて事業に参加したい。(初めて参加)
⇒要望があった参加者(家族)には、職員や施設ボランティアをサポートにつけるなどの対応を行っている。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	I 住民の平等 利用が確保 されること	(1)『住民の平等利用が確保されること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①利用調整委員会を開催し、利用調整を行っているか。 ②主催事業において、幅広い市民への参加の機会と周知を図っているか。	SS	SS	SS
		(2)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	①障がい者を含め幅広い層の利用を促すため、ソフト面での配慮を推進しているか。	A	A	A
		(3)情報公開、広報の方策	①市内小中学校、市内少年団体、当年度利用諸団体に対する次年度への呼びかけ及びホームページ等も含めた紹介・啓発をしているか。	S	S	S
		(4)個人情報を保護するための方策	①個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	A	A	A
		区分評価				
効果性	II 事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最 大限発揮す るものである こと	(1)『事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①「岐阜市少年自然の家運営方針」のとおり「ほほえみ、なかま、自然」を大切に施設運営をしているか。	A	A	A
		(2)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	①主催事業等の活動プログラムの改善を図っているか。	S	S	S
		(3)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	①利用者・団体に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	S	S	S
		(4)利用者に対するサービス向上の方策	①利用団体の活動に対し、可能な限り職員を配置し、適切な指導・援助を行っているか。	SS	SS	SS
		(5)利用促進、利用者増の方策	①利用者の少ない冬季を含め、事業の充実等により利用の促進に努めているか。	A	A	A
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	①利用団体の活動に合わせ、必要に応じ宿直、夜勤、通常勤務、週休等を割り振り対応しているか。	A	A	A
		区分評価				

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	Ⅲ 事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	(1)『事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①利用者の安全を第一に考え必要経費に優先順位をつけ、管理的経費の削減に努めているか。	A	A	A
		(2)指定管理経費の設定額	①収支予算書との妥当性かどうか。	A	A	A
		(3)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	①利用者へのサービスを低下することなく、コストの削減に努めているか。	A	A	A
		(4)収支計画の妥当性	①削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	A	A	A
		(5)管理経費削減の具体的方策	①事業・活動の目的の範囲内で引き続き経費の削減に努めているか。例えば啓発紙等印刷物は可能な限り、電子メール等電子媒体を取り入れているか。	S	S	S
		(6)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	①施設の性質上、不規則勤務にならざるを得ないが、宿直勤務は可能な限り必要最低限とし、無理のない勤務体制としているか。	A	A	A
	区分評価					A
安定性 安全性	Ⅳ 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力、人的能力を有していること	(1)『事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①職員は行政計画、教育指針等を常に把握して野外活動に取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)当該公の施設に類似あるいは関連する事業、業務などの実績	①類似施設等の管理実績を参考にしているか。	S	S	S
		(3)経営基盤の安定性	①公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	A	A	A
		(4)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	①小・中・高・養護各教諭免許、社会教育・社会福祉各主事資格、防火管理・危険物取扱各免許など専門知識や経験が活かされているか。	S	S	S
		(5)スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	①より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができているか。	S	S	S
		(6)スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	①経理・文書・施設管理・里山の自然等業務についての基本知識の他、個人情報保護・安全衛生・救命救急・接遇・人権等の研修が行われているか。	A	A	A
		(7)リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)及び対応能力(資金力、損害賠償能力など)	①野外活動エリアの安全点検・館内外の巡回・消毒清掃・衛生指導・避難訓練等を実施しているか。非常時の対応が確認されているか。	A	A	A
		(8)学校及び教育委員会との連携	①学校や教育委員会との連携がなされているか。	S	S	S
	区分評価					S
貢献性	Ⅴ 事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)『事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①市の方針に基づいた計画で、地域の振興・活性化に貢献する計画となっているか。	A	A	A
		(2)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	①地元の法人その他の団体との連携に務めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		(3)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	①施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	A	A	A
		(4)地元での資材等の調達	①資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	A	A	A
		(5)その他地元への貢献に関すること	①地元で実施される社会活動等への、積極的な参加に務めているか。	A	A	A
	区分評価					A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

- ・小中学校、青少年団体等の来年度の利用日については、希望時期だけでなく、各団体の主たる活動や活動場所に十分配慮し、きめ細やかな調整を図っている。また、必要に応じて休所日を臨時開所するなど、柔軟な体制作りにより、可能な限り各団体の希望に沿うよう努めている。なお、今期は小中学校や青少年団体等の代表者を委員とする「利用調整委員会」を2回開催し、前述の内容等を説明しながら来年度の市内小中学校及び特別支援学校の利用日について承認を得ている。

・各団体の指導者には、利用日1カ月ほど前に実施する「事前打合せ会」に出席を依頼している。例えば5団体以上が同泊される場合も数多くあるが、この「事前打合せ会」を通して各団体の指導者から宿泊室、活動場所等の要望を丁寧に聞き取り、公平・公正な調整を図っている。

・各団体から体育館、ラグビー・サッカー場等、当施設が直接管理運営していないスポーツ施設の利用希望があった場合も、関係機関との連絡を密に行い、円滑な調整を図っている。なお、上記2点の内容も含め、利用者から公平性を欠くといった指摘は、一切受けていない。

(Ⅰ-(1)-①)
- ・主催事業の募集については、チラシ配布やホームページ、「広報ぎふ」、ラジオ等、各種媒体の活用に加え、出前講座や各団体の退所時など、多様な機会に参加者(利用者)へ直接呼びかけ、幅広く市民に周知を図っている。

(Ⅰ-(1)-②)
- ・「自然の家だより」を定期的に発行したり、岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」に積極的に投稿したりするなど、身近な自然や自然の家の活動への関心を高めるための情報発信に努めている。

・利用に関するQ&A、利用者アンケートの結果、主催事業の募集及び活動報告等をホームページに掲載し、積極的に施設及び各種事業の紹介・啓発を行っている。

・「季節の散策マップ」を岐阜ファミリーパーク内休憩所に設置し、公園を訪れる多くの市民に活用されている。

・9月末現在、新規22団体を含む329団体から来年度の利用希望があり、各種の広報活動に加え、ロコミの効果(主に職員対応への評価)が大きいと捉えている。

(Ⅰ-(3)-①)
- ・主催事業では、特に4泊5日の長期キャンプ「わんぱく村」について、大幅な活動プログラムの見直しを行っている。これにより子どもたちの実態により則した内容を提供することができ、参加した子ども、その保護者のいずれからも大変高い満足度を得ている。

・上記以外の主催事業についても、すべての事業で常に新しい内容を取り入れている。結果、新規参加者、リピーターのいずれからも大変高い満足度を得ている。

・受け入れ事業では、特にウォークラリー・オリエンテーリングコースを新規に7コース開発し、提供している。小学校低学年から大人まで幅広い年齢層に対応したプログラムとなっており、数多くの団体が活用している。

(Ⅱ-(2)-①)
- ・受け入れ事業では、すべての団体に対して「利用者アンケート」への協力を依頼している。また、「事前打合せ会」、下見、当日の対応時等、多様な機会に直接、要望・苦情等の聞き取りを行っている。アンケートの結果、聞き取りの結果については、職員会議、「朝の打合せ会」等で共通理解を図り、改善に努めており、職員対応等の高い評価につなげている。

・主催事業では、すべての事業で「参加者アンケート」を実施し、その結果については、職員会議で共通理解を図っている。また、次回事業の改善、向上に向けて、その結果を十分反映することにより、各事業の高い満足度につなげている。

・施設だけでなく、岐阜ファミリーパーク全体への要望・苦情等も把握するため、4月、9月に公園管理者、体育館との三者会議を実施し、改善すべき内容は、三者が連携して対応している。

(Ⅱ-(3)-①)
- ・利用当日は、すべての団体のすべての活動に職員を配置し、適切な指導・支援を行っている。これまでも野外炊事や川での活動は、2名の職員を配置していたが、ゴムボートでの川下りについては、さらに安全性を高める必要があると考え、職員を増員(2名⇒3名)し、きめ細やかな対応を行っている。

・天候等の理由により、各団体の活動が大きく変更される場合もあるが、「朝の打合せ会」等で、指導・支援体制の調整、確認をし、適切に職員を配置している。

・準備段階である「事前打合せ会」や下見等においても、すべての団体に職員を配置し、指導者への適切な指導・支援に努めている。

・宿泊学習への対応と並行し、遠足、社会見学等で岐阜ファミリーパークを訪れる団体に対しても、各種プログラムを提供し、積極的な指導・支援を行っている。

(Ⅱ-(4)-①)

今期の取組み
に対する評価

・電子媒体の積極的な活用など、業務要求水準に応じた経費縮減策を継続して実施している。また、看板の取替え、宿泊室天井の補修、ハチの巣の駆除、教材の準備、加工など、多岐にわたる作業を可能な限り自前で行い、大幅な経費縮減を図っている。

・各職員が類似施設での研修や「自己課題」に積極的に取り組むことにより、自然体験活動に関わる高い専門性を有しており、外部講師に依頼することなく、質の高い事業を展開している。

(Ⅲ-(5)-①)

・当事業団で毎月開催している施設長会や、偶数月に開催している経営会議を通して、関連施設(ドリームシアター岐阜、ハートフルスクエアG等)の管理実績を把握し、参考にしている。

・6月に4所(乗鞍・各務原・中池・岐阜)の連絡会議を開催し、各施設の魅力ある取り組みや抱えている課題などについて、意見交流を行い、施設経営に活かしている。

・**食物アレルギーへの対応策について、直接、各務原市少年自然の家へ赴くなど、他の自然の家から情報を収集し、その強化に役立っている。**

・12月～2月期間の利用者増を目指し、他の自然の家の取り組みやホームページなどを参考にし、その啓発に役立っている。

(Ⅳ-(2)-①)

・小・中・高・養護各教諭免許、社会教育主事資格、防火管理・危険物取扱各免許、オリエンテーリングインストラクター、ラジオ体操指導員等の資格を有し、専門知識や経験を十分に活かしている。また、野外活動を主とする施設の特性上、救命処置の技能は不可欠であり、職員全員が毎年、普通救命講習を受講し、技能の向上を図っている。

・**施設が地域の避難所に指定されていることを踏まえ、担当者が新たに防災士の資格(県主催「総合防災リーダー育成講座」)を取得している。また、職員会議、「朝の打合せ会」の中で、担当者の得た情報を共有する機会を積極的に設け、職場全体の防災意識を高めている。**

(Ⅳ-(4)-①)

・職員が働きやすい職場環境を整えるため、当事業団の策定した行動計画に基づき、下記の目標の達成に努めている。

目標1: 女性職員の育児休業取得率80%以上

目標2: 育児休業、産前産後休業等、諸制度に関する研修会への積極的な参加

目標3: 年次有給休暇取得の推進

・1ヶ月単位の変形労働時間制を取り入れ、無理のない勤務体制を編成するとともに、毎週日曜日を「ノー残業デー」とし、職員全員がこれを遵守している。

・職員全員が計画的に業務を遂行できるよう、「年間予定表」、「月間予定表」、「週間予定表」を早期に作成し、周知を図っている。

(Ⅳ-(5)-①)

・「運営審議会」(8月)、「利用調整委員会」(5月、8月)を通じて、学校及び教育委員会の各代表者に対して、施設の成果や課題、来年度利用に関する内容などを説明し、いただいた意見、要望等を施設経営に十分活かしている。

・野外学習における教育効果を把握するため、利用された市内外の小中学校にアンケート調査を継続して実施してきたが、**今期は「学校指導者研修会」(4月、7月)を通じて、その分析結果を報告し、各学校の計画立案に役立っている。**

・岐阜大学、岐阜女子大学、岐阜聖徳学園大学等から、多くの学生が施設ボランティアとして活躍している。(今期**新たに24名が登録**し、全体登録数は83名)また、教育施設研修員制度やインターンシップ事業を通して、学校教員や学生に研修の機会を積極的に提供している。

(Ⅳ-(8)-①)

・市内小中学校、市内青少年団体の来年度の利用日については、優先的に調整を図り、その育成に寄与している。

・市内小学校、市内公共施設からの依頼を受け、積極的に出前講座を実施しており、その育成に寄与している。

・**「学校指導者研修会」や「事前打合せ会」等を通して、各団体に隣接する体育館(「岐阜ファミリーパーク体育館」)の効果的な活用方法呼びかけ、その利用者の拡大に寄与している。**

(Ⅴ-(2)-①)

※その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>所管課の意見 ・様々なメディアを使い、多方面に広報活動を展開しているが、冬季の利用者拡大をさらに図っていくことが望まれる。 ⇒12月～2月期間に10団体増加(対前年度比)を目標として掲げ、新たにホームページにこの期間の空室状況を掲載している。また出前講座や各団体の退所時に参加者(利用者)へ直接、この期間の利用を呼びかけ、積極的に啓発を図っている。 <u>(Ⅱ-5)-①)</u></p> <p>評価委員会の意見 ・利用者の意見を注意して吸い上げ、サービスの改善につなげていくと良い。 ⇒利用者からの意見、要望等については、アンケート調査をはじめ、多様な機会に聞き取りを行い、その把握に努めている。また、把握した内容については、職員会議、「朝の打合せ会」等で共通理解を図り、サービスの改善につなげている。 <u>(Ⅱ-3)-①)</u></p> <p>・利用者アンケートを工夫して、どのような人が利用しているのか、何を求めているのかを把握し、新規の利用者やリピーターの増加につなげていくと良い。 ⇒受け入れ事業については、各団体の申込時に利用回数、団体の所在地、活動の目的、構成人員(年齢層)を必ずお聞きし、それらの情報をもとに準備(「事前打合せ会」、下見等)から当日にいたるまで、きめ細やかな対応を行っている。また、アンケート結果については、新規利用者、リピーターそれぞれの傾向を捉えながら分析し、利用者の拡大に役立っている。 ⇒主催事業については、事業終了時に必ずアンケートを実施し、参加回数、活動への評価、事業への要望等、各項目への記載を依頼している。アンケート結果については、受け入れ事業と同様に新規参加者、リピーターそれぞれの傾向を捉えながら分析し、参加者の拡大に役立っている。 <u>(Ⅱ-3)-①)</u></p>
<p>今後の取組み</p>	<p>・来年度の団体利用について、市外の小中学校及び青少年団体等の希望時期や要望を踏まえ、各団体の主たる活動内容や場所を十分配慮しながら調整を図る。また、11月に開催する「利用調整委員会」において、来年度の利用に関する最終審議を行い、円滑な団体利用の受け入れに努める。 <u>(Ⅰ-1)-①)</u></p> <p>・子どもたちの実態を踏まえ、現行「活動解説資料」の内容を精査し、キャンプ活動や野外炊事活動、クラフト活動等に関する内容を見直す。また、新規活動プログラムを導入し、「活動解説資料(改訂版)」を作成する。 ・主催事業では、PDCAサイクルに基づき、活動内容の改善及び新規プログラムの導入を積極的に行い、下記の事業において高い満足度を得ることができるよう努める。(目標数値:満足度 下記事業の平均95%以上 ※) ※家族対象の事業:「満足」「やや満足」を合わせた割合 ※子ども対象の事業:「また参加したい」と回答した割合 ・職員自らが行う自然体験プログラム開発研修等を通じて、冬季に活用できるプログラムを中心に新規プログラムの開発を行う。 <u>(Ⅱ-2)-①)</u></p> <p>・児童・生徒に対して、野外学習利用後のアンケートを実施し、個人の変容を把握するとともに、分析結果を指導・支援の改善に役立てる。 ・より多くの利用者の意見や要望を施設経営に活かすため、利用者アンケートの回収率を上げる。(目標数値:全利用団体の60%以上) <u>(Ⅱ-3)-①)</u></p> <p>・利用者アンケートでは、下期においても目標数値を設定し、引き続き各団体のねらいに沿った親切で丁寧な指導・支援に努める。(目標数値:職員の対応平均4.93以上) <u>(Ⅱ-4)-①)</u></p> <p>・ホームページに、12月から2月までの空室状況を掲載し、広く情報を提供することで、この期間の利用の促進を図る。また、他施設での共催事業や事業協力、出前講座を積極的に行い、この期間の利用について紹介する。これにより、利用時期の分散化を図り、利用団体数の増加に努める。(目標数値:12月～2月期間の利用 対前年度比で10団体増) <u>(Ⅱ-5)-①)</u></p> <p>・空調設備や照明器具、浴槽用ボイラーの効率的な稼働(例えばこまめなON/OFF)に努め、A重油や電気の使用量を抑えるとともに、経費の縮減に努める。 <u>(Ⅲ-5)-①)</u></p>

<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上期に引き続き、職員のスキルアップと円滑な施設経営への活用を目的として、「アウトドアゲーム指導法」や「アナフィラキシー対応」等さまざまな分野に関する研修に、積極的に参加する。(目標数値:各職員年間6回以上参加) ・運営上の課題のほかに、個々の専門性や指導力の向上を図るため、職員全員が「自己課題」を設けて、自主的な研修に継続して取り組む。 (IV-(6)-①) ・食物アレルギーへの対応については、より安全対策を強化するため、食事メニューの固定化を行い、「食物アレルギー対応申込書」「除去申込書」を適切に活用する。 (IV-(7)-①) ・他施設(市科学館・青少年会館等)や施設利用のない団体に対しても、施設利用の効用が享受できるよう、共催事業や事業協力、出前講座を積極的に実施する。(出前講座の実施目標:年10回以上) (V-(2)-①)
---------------	---

●所管課の意見

<p>○「指定管理者の選定基準に基づく評価」・「指定管理者の取組に対する自己評価」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「I-(1)-①・(3)-①、II-(2)-①・(3)-①・(4)-①、III-(5)-①、IV-(2)-①・(4)-①・(5)-①・(8)-①、V-(2)-①について、「指定管理者の取組に対する自己評価」のとおりとする。 ・その他の評価項目については、事業計画書の内容通り業務が履行されている。 <p>○利用者の増減について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体数、利用者数とも増加している。 <p>○今後の方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、安全対策や子どもの実態等の今日的な課題をふまえた工夫、改善を加えながら、施設運営を充実させていくことを期待する。 ・冬期の施設利用者の拡大をさらに図っていきたい。
--

●指定管理者評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・各評価項目の具体的な業務要求水準に従い業務が履行されている。
